

学校教育目標「わかる授業！友だちいっぱい！今日も来てよかったと思える白子小学校」

学校だより

NO. 5 令和4年5月23日（月）

鈴鹿市立白子小学校



大津波警報・津波警報発令を想定した避難訓練

5月18日（水）、南海トラフ地震が発生し、それに伴い鈴鹿市沿岸部に大津波警報・津波警報が発令されたと想定した避難訓練を行いました。緊急地震速報により、机の下（一次避難）、運動場（二次避難）への避難を行った後、1・6年ペア、2・5年生ペア、3年、4年が白子中学校（3次避難）に向かいました。先頭の学年が白子小を出発してから最後の学年が白子中に到着するまでに要した時間は33分でした。

当日は、白子交番所長様、各自治会長様、児童支援隊の方々、PTA安全部の方々約40名のご協力をいただき、子どもたちの安全面の見守りをさせていただきました。お陰様で無事に白子中まで避難した後、また白子小学校まで戻ってくることができました。地域の皆様のご支援を心強く感じました。本当にありがとうございました。



9:30 ご協力いただける方が学校の玄関前に集合。児童支援隊長の山中様から見守りポイントの確認と配置について説明をしていただきました。

運動場での人数確認後、全校児童で白子中をめざして避難を開始しました。交差点等の要所要所では、安全確保のための見守りをいただき、助かりました。



途中の田んぼ道です。暑い中での徒歩での避難は結構大変でしたが、低学年の子どもたちも高学年のお兄さんお姉さんと一緒に頑張りました。

第 1 回学校運営協議会の開催

「学校運営協議会って??」改めて、簡単にご説明させていただきます。

白子小の学校運営協議会は、PTA 関係者、児童支援隊・学習支援ボランティアの方、白子地域づくり協議会の方、主任児童委員、市民センター関係者、学校歯科医、学校長から成る 11 名の組織です。学校運営に必要な支援に関する協議などを行い、地域に開かれた学校づくりを進めていきます。例年、年間 6 回会議をもちます。

学校運営協議会を設置した学校を「コミュニティ・スクール」と言いますが、鈴鹿市では、平成 23 年度から全ての公立小中学校をコミュニティ・スクールに指定しました。

5 月 12 日（木）、今年度 1 回目の学校運営協議会を開きました。主な協議内容は以下の通りです。

○白子小学校経営方針について

- ・校長より白子小学校経営方針について項目ごとに説明をし、学校運営協議会委員の皆様の承認をいただきました。その中で、「読み聞かせボランティアの今後の活動の予定はどうなっていますか？」という質問がありました。
→オンラインなど方法を工夫しながら徐々に再開する予定でいます。

○津波避難訓練について

- ・5 月 18 日に予定している津波避難訓練について協力依頼と説明を行いました。その中で、「ボランティアとして誰が来てくれるのか？」という質問がありました。
→国道 23 号線の交差点には警察の方に立っていただき、その他にも自治会長や児童支援隊・PTA 安全部に協力を依頼しました。
- ・過去に行った休み時間の避難訓練では、児童がそれぞれの場所で避難行動ができていたことを評価する意見が出され、今後も続けてほしいという要望が出されました。

○「白子小危機管理マニュアル」について

- ・事前に配布した「白子小危機管理マニュアル」に関して、「どこの学校も同じ内容のマニュアルになっているのか？」という質問が出されました。
→鈴鹿市として共通の部分と山や海など地形等によって違いがあり、学校独自の部分があります。
- ・近隣の学校で 4 月に不審者による児童への暴力事件があり、自治会の会議では防犯カメラに補助金を出すという話がある。自治会としてはゴミ集積所への設置を希望しがちだが、通学路への設置が基本だというお考えを聞かせていただきました。

○白子小学校配当予算について

- ・昨年度より消耗品費が 118,000 円の減収のため、節約しながら必要なものに使用していくことを説明しました。